

GP-KIDS PRESENTS

ToHoProject

FanBook Vol.3




**Past Desire**  
**Nostalgic Desire**





**Past Desire**  
**Nostalgic Desire**



どうも、高菜しんのです。  
まいど代わり映えのない前書きでございます（°Д°）

今回は八雲一家のお話、つーか紫のお話でございます。  
毎度なまったり漫画で短めですが  
お楽しみください（°Д°）







おはよう藍・橙

あーん

～小さな宴 大きな宴～



あら、藍

晩御飯にしては  
少し量が多いわね

今日から  
お盆の時期です

酒の肴にいいかと  
おもいました

…そう、お盆…

もう何度目かしらね

幻想郷を通る  
魂の宴の季節ね

永劫に時を刻んでいると、  
なにかしら理由をつけないと  
お酒もおいしくないものよね

木オホ

そですまね

小魚の  
アヒラ ぶすけじ





ちよつと  
早かったですかね



構わないわよ、  
先に軽めに  
いただこうかしら







そうですね

ふう



今日も  
いい月ね

盆時期のこの月を  
見ていると...



ずいぶんと前の  
出来事がほんの少し前に  
思えてくるわね



…藍は私の式になって、もうどれくらいになるかしら



そうですねえ…

もう千年ぐらいたつてるんじゃないですかねえ



…藍

年の経過はわからなくなっても、季節の感覚は無くさないようにしなさい



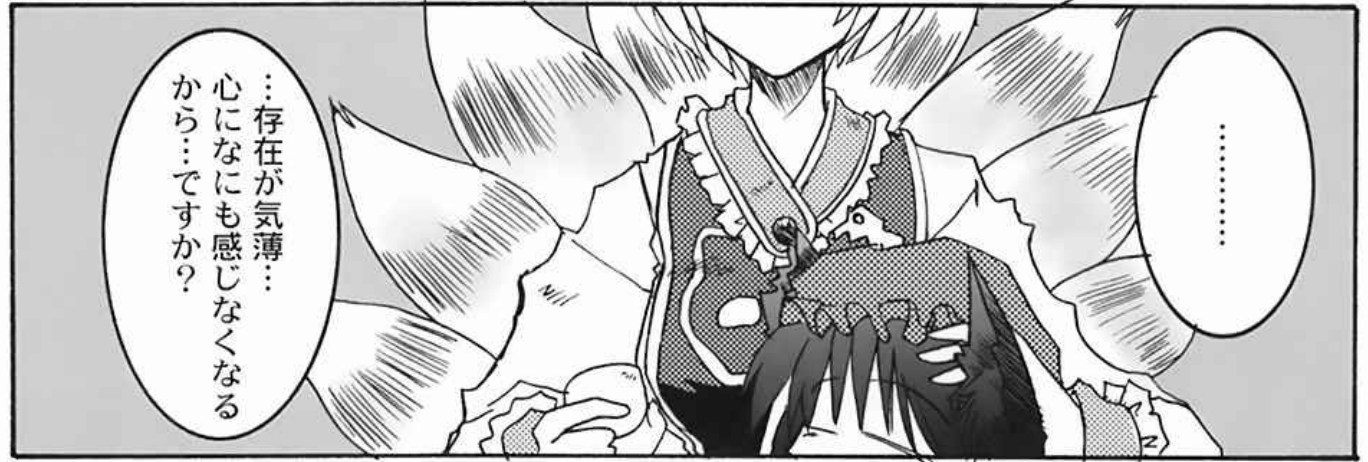
紫様と一緒にいると、季節の感覚は平気でも、年の感覚は薄くなっちゃいますね

そうですね



永劫を生きているとね、なにか自分から外から刺激がないと、自分を見失ってしまうの

心の問題ではなく、自分の存在事態が気薄に







私が人間の姿を  
しているのも、藍や橙が  
「人間の姿」を選択するのも

たぶん、世界と人間に  
存在を認知されるための  
必然



ねえ藍…



…私たちはそもそも  
人間と世界の想像から  
生まれた存在だって  
知ってた？



え

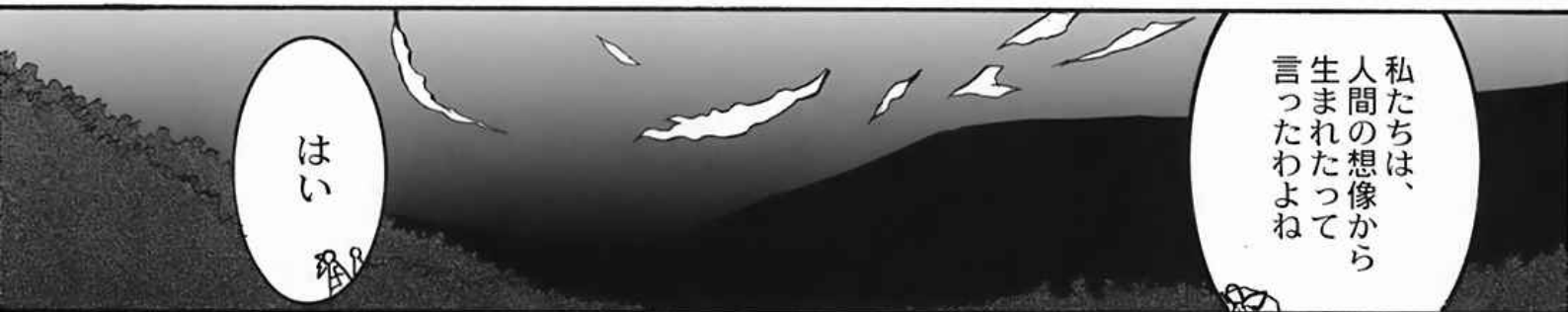


…なんて  
ほとんど私の想像と  
憶測だけ♪



怪は人間の恐れる存在であるが  
怪は人間に退治される存在でもある





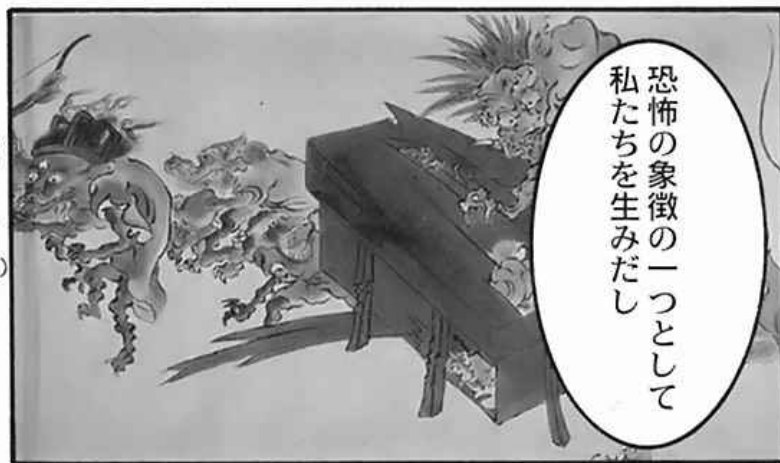




それを勇氣ある人が  
退治できることが、  
人の希望の象徴の一つ



人間は知識と興味に  
とても貪欲よ、その反面  
とても怖がりて臆病



恐怖の象徴の一つとして  
私たちを生みだし

資料提供：国立歴史民俗博物館

人間は守られてる、  
守っているって事に  
活力を見出す

まあ昔に比べて  
結界で現世と分離してから  
私たちの理が変化して  
みたいけどね

すべての理は、相手が  
いないと成立しないこと  
ばかりなのよ



私は、ちゃんと  
紫様の式神です

ですが正直…

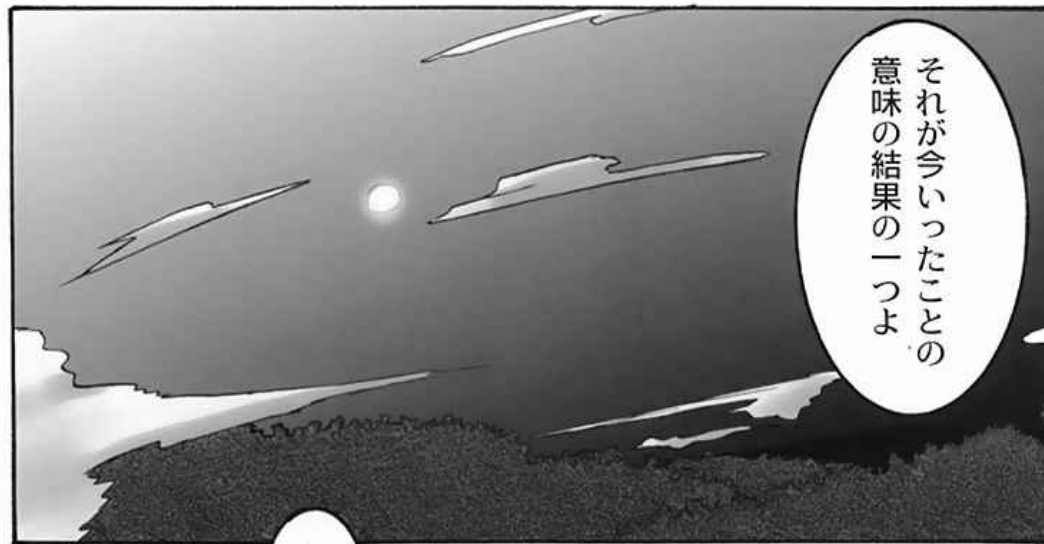


藍…

あなた最近…、  
自分が式神って  
認識はしてる？



ふと曖昧になっていることに  
気づいたりします



それが今いったことの  
意味の結果の一つよ

…まっ



…そして、私たちは幻想郷と人界の  
境界にあるマヨイガに意座る妖怪。

おそろくもつとも長く  
この世界を見ていく存在だわ



私たちが表に出ない限り、  
ここには博霊のお嬢さんぐらいしか  
入ってこれないしねえ

たまに、人間が  
迷いこんでくるけど

それは、紫様がっ！

…気まぐれでっ！

なん、  
なんかいった？

いえ、なんでも

お嬢さん





そうですね

橙は



まあ、今は深く考えて無くても良いわ

きっと自然に理解する



それも一理ある  
考えであるな

ふふ…  
そういうのも  
アリね



藍さまと紫さまと  
楽しめれば  
それでいいや





もうあれから千年もたつてしまつてるのね



思えば……こんなこと考えるきっかけも、あの人の影響ね……



我 妖(あやかし) 討ち取つたり!



アア



アア...

空間を超えて  
術を当ててくるなんて  
人間(ヒト)にも  
腕のたつのがいるのね

まさか私が人間に興味を持つなんてね



妖めっ!



なぜ私の回りにまとわる



われは一度  
主を打ち射とめた者なるぞ

あら  
怖いわね

あら、  
なにか害を与える  
つもりは無いわ

ふわり

興味があるのよ、  
あなたにね

だって私を打ち落とす相手よ？

この感覚は  
なにかしら

いろいろな物事に、  
いろいろな気分を  
感じるわ

それは、  
多分感情という  
ものだ

本能にしたがって  
行動する  
妖である私は…  
しらないわ…

この感覚を  
感情というの…？

感情…



あなたと  
一緒にいると…



…ふふふ

そして、  
それを感じるのも  
また感情という  
ものなのだ



ヒトは、  
喜び・怒り・哀しみ・  
楽しみ・慈しみ  
などで気持ちを  
感情と受け止め表現する



胸の内が  
心地いいわ…

心が踊るよう…



これはどのような  
感情なのかしらね…

妖（あやし）の私でも感情は人間と同じモノと知った



私はどうして  
存在しているのかしら…

気が付いたときから、  
「今」の私が  
存在している…

「存在」とは、  
相手がいるから確立する

なぜならば  
「存在」というのは  
常に陰と陽、  
対で成り立っている

それはすべてに意味が  
「存在」するということ  
是、陰陽道の一つ也

あなたたち人間は  
きつと陽ね…  
…そうなる

日を好まない  
私たち妖は  
まさに陰…

あら、  
これで陰と陽が  
そろっているわ…

私たちの関係は  
そう考えると


必然なのかしら？

…そなたのような  
美しい妖と  
対の存在となるか…

ふむ…  
悪くないな

わたしもあなたと一緒にいるときはとても居心地がいいわ






今日は盆と言う時期でな、  
死者の魂が天界冥府から  
こちらの世界に里帰りするといふ

そう

幻想脚は  
いつもこの時期は、  
光り輝く魂の参列が  
宴をしながら移動してわ

綺麗な月…

冥界と繋がっている  
からかしらね…



そうか、  
そこで見る月夜はまた、  
格別であろうな

一人より二人で見る月がこんなにも  
綺麗に感じるなんて思わなかったわ

ふふ…

妖を倒すほどの  
強き者になれても、  
病には勝てないようだ

そうね

所詮あなたも  
弱い人間なのよね  
残念よ…

言ってくれるな

私もそなたと共に  
歩めないのが残念で  
ならんよ…

妖の私たちも  
自分勝手だけど

あなたたち人間も…  
あなたは私の心を

妖よりも短命で  
弱き存在の癖に…

なんだ  
泣いてくれるのか？

お前は…



…紫



…そんな顔をするな

自由気ままに  
生きてるときの顔が  
私は好きだぞ



ふふ…

人間は面白いわ…

唯一私に感情を感じさせた者たち…

紫さま！

あっ！  
☆





綺麗だー！

いつ見ても格別ですね♪

命の輝きは  
どんなものよりも  
美しいの

月の輝きも引き立った  
この瞬間に、お酒が楽しめるのは  
何回やってもいいものね♪





そういえば紫さま

さっきの話って実は...



もう一杯いただける？

藍.....

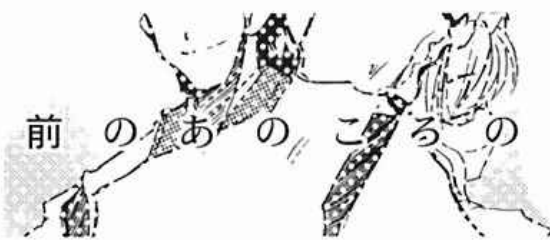


はい

一人より二人、二人より三人…  
この居心地のいい和の雰囲気…



千年前のあのころのよう…



幻想郷は

今も

あのころのまま…

おわり

八卦	卦名	和読み	自然	性情	家族	方位
☰	乾(ケン)	いぬい	天	健	父	西北
☱	兌(ダイ)	—	沢	悦	少女	西
☲	離(リ)	—	火	麗	中女	南
☳	震(シン)	—	雷	動	長男	東
☴	巽(ソン)	たつみ	風	入	長女	東南
☵	坎(カン)	—	水	陷	中男	北
☶	艮(ゴン)	うしとら	山	止	少男	東北
☷	坤(コン)	ひつじさる	地	順	母	西南

(´▽´)!?

## あとがき

今回のお話を作るきっかけは、絵チャットでのとある人のラクガキをみて思いつきました。

八雲紫のお話は幽々子からみが大半なので、それ以外でっつのは考えていましたが、まさか「紫は、きとお母さん」というキーワードでソレダ！ って話を考え出すとは思いませんでしたよ(´Д`)

>まあ絵チャでのラクガキがそんな感じのやつだったってわけです

んでその辺を中心に話を考えて練り上げてみたらこんな感じのお話になりました。(´A`)

最初は紫に熟女の魅力を出すお話だったのだが…気が付いたら小難しい話と、紫のありえない表情を描いてみよう という主旨に変更してました。

さて、どこでズレたんだろう(´A`)?

本当は、最後の魂の行列の場面で幻想卿の面々も見ていってカットを入れたかったんですけど、ページ配分の関係でカットしました(´A`)  
もうちょっと、コマ割うまくならんとな(´A`)

とりあえず、時代交渉とか、その辺は一切無視でお願いします。

言い回しももうちょっと丁寧にしてみたかったが、伝えたい内容優先ってことでむちゃくちゃ自分の都合で適当にやっているので、突っ込みどころ満載です(´A`)

まあそこまで考えてられなかったのが正解(´Д`  
なんとなく、気に入ったら深読みしてみてください(笑

まあ、回想最後の紫の泣き台詞はちょっと強引だったかなーとか思ったりしてますが、まあだからよりは…って感じです。

ま、描きたかった事は描ききったので満足でございます。

でも…ありえねえな、紫じゃこんな表情…

まあドリームってことで一つ…(´・ω`:::…)

次は、絵茶の友人と魔理沙合同本と幽々子本の二冊同時でいきますですよ



## 奥付

タイトル…………… **Past Desire  
Nostalgic Desire**

内容…………… 東方 project 八雲一家中心 八雲紫本

オフセットナンバー… 57

著者…………… 高菜しんの

発行…………… GP-KIDS

印刷所…………… ねこのしっぽ様


発行日…………… 2006年4月23日 初版発行

スペシャル…………… 北野 秀（流風舎） ■残り全部  
サンクス 神城 ■雑用&ベタ  
増田 ■各員トーン仕上げ









GPK-No.57  
ToHoProject  
FanBook Vol.3



**PastDesire**  
**NostalgicDesire**



**GP-KIDS PRESENTS**  
**2006 WINTER**